



一人一人の心によって…

私たちは、幼い頃から、家庭や社会の中でしつけを受けるとともに、さまざまな経験を積むことで、善悪の基準を自分の心の中につくり上げ、自分を律していけるようになります。「自分を律する」というと、自分の意欲を抑え込むとか、自分らしさがなくなると受け取ってしまう人がいるかもしれませんが、決してそうではありません。私たちは楽をしたかったり、安易な方向に流されたりしやすいからこそ、善悪の基準をきちんと持ち、それに基づいて自分で自分を律する（コントロールする）ことによって、自分らしさをよりよく発揮できるのです。

「みんながやっていることだから・・・。」

このような言葉を口にする裏には、自分のやっていることに対する後ろめたさがどこかにあるのだと思います。「悪いのは自分一人ではなく、まわりも同じなのだ。」ということ、自分への言い訳にしているのではないのでしょうか。実際には、心のどこかでは「ちょっとおかしいのでは・・・。」と思っていることでも、「みんなやっていることだから」とか、「今までやってきたことだから」と言われてしまうと、何となくそれに従ってしまうことがあるかもしれません。どこかで少しは良心の痛みを感じているはずなのに、自分ではいけないことだと分かっているはずなのに、まわりに引きずられてしまうという弱さを、私たちは持っています。同じ環境の中にいることによって、だんだんと感覚が麻痺（まひ）してしまうのです。

「みんながやっていることだから、これぐらいのことはしてもいいだろう。」ではなく、「友だちがやっているけれど、やってはいけないことはやらない。」「友だちはやっていないけれど、やるべきことはやる。」という心の姿勢を養い、一人一人が小さいことを積み重ねていきましょう。そしてそれは、自分の中だけにとどまらず、必ずまわりの友だちにもよい影響を与え、学校全体をよりよい方向へと変えていく力になっていくと思います。一人一人の心によって、三豊中学校を温かい学校にしていきましょう。



(無料イラスト「イラストAC」より)

ご協力、ありがとうございました

先日、生徒会役員の皆さんの発案で、トルコ・シリア地震救援金に対するご協力を呼びかけました。皆さんの善意として、69,463円の救援金が集まりました。ありがとうございました。

20日（月）に、日本赤十字社香川県支部の方がお越しください、生徒会長の竹内稜槻さんから事務局長の山田恵三様にお渡ししました。竹内さんからは、「遠い国の出来事だが、決して他人事とは考えずに、自分たちに何ができるかを生徒会役員で考えて、全校生徒に呼びかけた。一人でも多くの方が助かってほしい。」という思いを伝えました。この救援金は、日本赤十字社から国際赤十字・赤新月連盟を通じて、被災者救援に使われます。皆さんの温かい気持ちで、一人でも多くの方が救われることを願っています。

